

公表

事業所における自己評価総括表 《児童発達支援》

○事業所名	ほっとルーム倉敷Ⅲ		
○保護者評価実施期間	令和 6年 9月 1日 ～ 令和 6年 9月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	令和 6年 9月 1日 ～ 令和 6年 9月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 11月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・支援プログラムに一貫性があり、利用者が安心して通うことができること。	・一人一人の特性に合わせた支援内容を準備して職員全員でチームとして支援している。	・支援準備をする時間の効率化に取り組み、カンファレンスの時間を多く取っていく。
2	・適切な環境を設定し、支援に取り組むことができていること。	・その日の利用人数や、その日来所する子どもの特性を踏まえた環境の設定をしている。	・適切な環境設定を行うために、日々の環境整備を今後も怠らないようにしていく。
3	・保護者との対話を大切にし、支援のニーズに対して細かに対応していること。	・日々の支援の前後で、保護者対応を綿密に行っていること。	・保護者から話があったことを職員間で共有し、次の支援や保護者対応に活かしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・支援時間を統一しているため、子どもたちが来る時間が集中する。	・時間帯の統一。	・同じ時間帯でも活動の工夫して、プログラムを組んでいく。
2			
3			